

和合

No.123

2018.6.20

題字：三浦修次

主な掲載記事

和合探訪	2
はやぐおっきぐなれの～！	3
よつぱつこ通信	4
6年生のみんなが願う和合の里	5
畑にこんにちは！	6
季節の郷土料理	6
こんにちは 保健師です	7
わごう駐在所	7
和合の里INFORMATION	8



村の起こり

◆廻館の開村

廻館は、永禄元年(1558年)に相馬祐之進盛親主従7人が来て開村したと伝えられています。しかし、開村と同時に創建されたという皇大神社の歴史からみれば開村は慶長2年(1597年)ということになり、また、荘内史年表(1955年12月鶴岡市発行)では慶長15年(1610年)の開発とされているなど、開村年代については諸説ありますが、和合地域で一番古い集落であることは間違いないようです。

村高(米の収穫量)は、寛永元年(1624年)の記録によると737石3斗6升(約110,000kg)で、西袋(122号掲載)の村高と比べるとその差は歴然で、およそ20年後には1,300石(190,000kg)に増えていることから村の大きさが伺えます。

◆明治9年の合併

かつて廻館村には、西南に三本柳村、東に荒興屋村が隣接していました。共に開発年代は不詳ですが、三本柳村については寛永元年(1624年)の庄内検地高辻の記載をみると、元和年中(1615~1624年頃)にはすでに開発されていたのではないかと考えられています。また、荒興屋については慶安3年(1650年)の開発と伝えられています。どちらも明治9年に廻館村に合併しています。3村の合併により、現在、廻館に皇大神社が2つ存在することになりました。そのうちのひとつをご紹介します。



皇大神社

永禄元年(1558年)廻館村創基の時の鎮座なりと伝えられていますが、300年祭が明治29年に行われているため、開村と神社の創設は別なのではないかという説もあります。延宝3年(1675年)相馬市良左エ門によって再建され、当時は大神宮と千手観音を祀っていましたが、神仏分離によって皇大神社となりました。

昭和21年が350年祭に当たっていましたが、終戦後間もなくのため、昭和32年に延期し、社殿の増改築を行って執行しました。

お御輿は300年祭を記念して当時の区長佐藤又七氏が奉納したもので、その造りは現在では得がたい貴重な文化財としての価値が認められています。昭和52年に大修理を施し、昭和55年にはお御輿殿を新築して保存しています。

大名行列「奴振り」は300年祭(明治29年)のころから行われ、初めは赤い長襦袢を着て振っていましたが、大正元年頃から正式城内奴の服装、襦袢になって今に至っています。

著名人 PICK UP!

明治41年に盛岡高等農林学校農林課を卒業し、村山農学校教諭となりました。昭和5年に上山農学校長に転じ、その後、置玉、庄内の両農学校の校長として県内農村子弟の教育に尽瘁し、退職後は開拓地太平農場長、山形県農地委員などを歴任しました。また、学生の頃から植物分布学に没頭し、山形県内各地の山野を跋涉して植物の採集、調査研究を重ね、昭和9年に置玉地方で「ツクシガヤ」を発見するなど植物学上大きな功績を残しました。採集した植物標本は庄内町立図書館や山形大学農学部に残存しています。昭和15年5月に勳5等瑞宝章を受賞。



加藤 元 助

(明治18年4月11日
~昭和51年4月8日)



パパとママにインタビュー

はやくおっきくなれの～!

Q1 名前の由来は？ Q2 今一番の興味やハマっていることは？
Q3 最近記憶に残ったエピソードは？ Q4 パパママの失敗談（子育てあるある）
Q5 パパママからのメッセージ



いちゃ
加藤 壱也ちゃん（連枝）

平成 29 年 8 月 22 日生まれ

パパ：拓也 たくや ママ：裕美 ひろみ



- 1 まっすぐ、誠実、スマートな男の子のイメージで「壱」。
パパから一文字とって「也」。
- 2 お姉ちゃん（2 歳）が遊んでいるおもちゃを奪いたがること。ひいおじいちゃん（82 歳）に抱っこされること。
- 3 拍手、バイバイ、つかまり立ちが一気にできるようになったこと。
- 4 パパとのお風呂中、一番風呂の湯船でしっかりうんちしちゃったこと。
- 5 これからもお姉ちゃんと仲良く、壱也のペースで大きくなってね。



ひなみ
阿部 日南ちゃん（沢新田）

平成 29 年 8 月 22 日生まれ

パパ：文彦 ふみひこ ママ：真依 まい



- 1 お日様のように明るく温かく、向上心を持って育ってほしいとの願いを込めて。
- 2 「いないいないばあ」が好きで、人がやるのを見て喜んだり、声をかけるとカーテンやタオルを使って「いないいないばあ」をやってくれます。
- 3 いつも寝付きがあまり良くないのに、昼寝が少なかった日の夜に、眠気の限界を迎え、抱っこで寝たこと。徐々にまぶたが閉じていく様子がかっこ良かったです。
- 4 つかまり立ちや伝い歩きができるようになり、どこでも立とうとしてバランスが上手くとれずに転んでしまい、顔に傷やあざができてしまったこと。女の子なのに……。
- 5 日南のニコニコは家族みんなを笑顔にしてくれます。お姉ちゃん、お兄ちゃんと笑って遊んでいる姿を見るのは嬉しいです。これからもきょうだい仲良く、健康に成長してってね。





🍀 よもぎだんご！おいしくできたね！

園庭でよもぎの草を発見！『いいにおーい』『小さい組の時、大きい組さんによもぎ団子ご馳走になったよね』『今度、作ろうよ！』ということになり、年長組さんみんなで、よもぎを探しに出発！



『あったー！』『この草だよね？裏が白いよ』とどんどん見つける子ども達。新芽の柔らかいところだけを摘むのもとても上手でした。



クッキング当日は、すり鉢でよもぎをすりすり…。白玉粉に混ぜてくるくる丸めて、茹でてもらって、黄な粉をまぶし、おいしいよもぎ団子が出来ました。

小さい組さんに『一緒によもぎ団子を食べましょう！』と誘いに行き、ご馳走しました。味も大好評で、得意顔の年長組さん！おだんごパーティー大成功でした。



▲「よもぎ団子おいしの～！」

🍀 せんせいあのね

A君『先生何型？』

T『先生は、O型だよ』

A君『B君は？』

B君『おれは、何型でもねー。』

でも今日プールはいらいる！ゆうがた！』
一同（大笑いー）

余目第四小学校6年生の みんなが願う 和合の里



伊藤 悠介
【古関】

みんなが仲よくして、笑顔があふれて、あいさつがしっかりできる和合の里にしたいです。理由は、庄内町はあいさつを重点的にがんばっているからです。それから、みんなが仲よくすれば、いい和合の里になると思います。



佐藤 紅羽
【廻館】

私は、いつまでも自然が豊かで緑がいっぱいの和合の里になってほしいです。自然が豊かで緑がいっぱいあるけど、未来まで今の自然が残っているか分からないので、和合のみんなでいつまでも自然を残していきたいです。そして、私たちがいつも食べているおいしいお米もいつまでも残していきたいです。



加藤 心愛
【主殿新田】

私はいつまでも緑がいっぱいで、誰でも進んでボランティアをして、道路にゴミがなく、とてもきれいな町になってほしいです。四小のあいさつのじまんがずっと続いてほしいです。



小野寺 有紗 先生
【6年担任】

今年度から四小にお世話になっています。明るくて元気な子ども達。あたたかい地域の皆さん。学校から見える田んぼの風景も大好きです。これから先も、子ども達の笑顔がきらきら輝くあたたかな和合の里であってほしいです。



畑にこんにちは！

伊藤 信さん(西袋)



とある日の早朝、畑を耕していた伊藤信さんにお話を伺いました。いつも畑に「おはようー！」とあいさつに来るんだよと話す信さんは、朝から快活で、カメラを向けるとモデルのようにポーズをとってくれるおちゃめな一面もありました。信さんの畑は広く、じゃがいも、枝豆、玉ねぎ、にんにく、うるい、スイカ、キャベツ、レタス、いちごなどが植えられており、これから、かぼちゃやとうもろこしを植えるそうです。

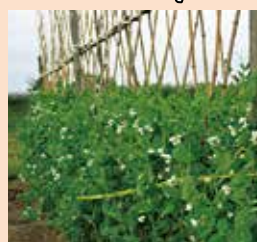
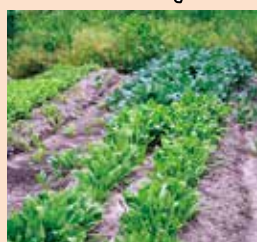
面積が広い分、やはり管理が大変だとのことで、やらなければならないことはたくさんあるのに、草取りだけで終わってしまう日もあるとか……。また、収穫するまでに作物が病気ににかかってしまうこともあり、早く対策すればよかったとガッカリすることもあるそうです。

畑以外に楽しんでいることはありますか？と尋ねると「趣味はたくさんあるけど、やっぱり畑が楽しいなやの！」と仰っていました。今度はこれ植えて……あれ植えて……と考える時間も楽しみで、ちょっと来ないうちに野菜が育っているのを見つけると嬉しくなるそうです。また、朝早くから畑にいと、お孫さんが通学のスクールバスから手を振ってくれ、学校から帰ってくると「今日畑にいたね！」とそんな何気ない会話も楽しみのひとつだと、ニコニコと嬉しそうにお話ししてくださいました。

小松菜
ほうれん草

アスパラガス

さやえんどう



季節の郷土料理



にら^{ます}鰻のあんかけ

材料(4～5人分)

にら…300g	★砂糖…大さじ6～7
桜鰻…300g	★醤油…大さじ3
生姜…30g	片栗粉…大さじ3
塩……少々	水………1と1/3カップ1
酒……大さじ3	

◆作り方

- 1 鰻を三枚におろして塩をふり、蒸気の上で蒸す。にらは茹でて、5cmに切りそろえる。
- 2 酒を鍋に入れ沸騰させ、アルコール分をとばし、★を入れ煮溶かす。
- 3 砂糖が溶けたら火を止め、水で溶いた片栗粉を木べらで時計回りに混ぜながら少しずつ入れる。
- 4 再び3を中火にかけ、よくかき混ぜながら煮立てる。沸騰したら焦げないように注意しながら、あんが透明になり艶が出るまでよく練る。
- 5 鍋を火から下ろし、冷めるまでよく練る。
- 6 器に鰻とにらを盛り合わせ、あんをかけ、お好みでおろし生姜を添える。

◆ポイント

- * 酒は煮きってから使うと酒臭さのない美味しいあんに仕上がる。
- * ゆで卵や赤色のかまぼこ、うどんなどを添える家庭もある。



こんにちは 保健師です！

庄内町保健福祉課
渋谷 麗
(第四学区担当)

～のぼそう！健康寿命！！～ あと何年元気で いられますか？

町民一人一人が健康寿命をのぼし、生涯にわたって心身ともに健やかに暮らせるよう、「健康寿命」をテーマに健康づくりを推進しています。

健康寿命をのぼすためには、年1回「特定健康診査」と「がん検診」を受け、ご自分の健康状態を知ることが大切です。健診結果からご自分の生活習慣を見直し、健康的な生活習慣に変えていくことが、健康長寿につながります。

今年度の健診の申込みはお済みですか？随時健診申込みは可能ですが、お早めに連絡をください。既に申込みされている方には、検診日程に合わせ健診票等を送付します。

問い合わせ先

- ◆ 健康推進係（余目保健センター）☎42-0170
- ◆ 健康福祉係（立川庁舎）☎56-3392

■「特定健康診査」は、メタボリックシンドロームに注目した健診で、肥満度(腹囲、BMI)、血圧、血糖、脂質、肝機能、腎機能、貧血などを調べます。

メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に加え、①脂質異常、②高血糖、③高血圧のうち2つ以上をあわせもった状態をいいます。

①～③が病気でない軽い状態であっても、重なることで命にかかわる虚血性心疾患(主に心筋梗塞)や脳血管疾患(主に脳梗塞)などの生活習慣病をひきおこす危険が高くなります。



■「がん検診」は、庄内町は無料で受けることができます。子宮頸がん検診は20歳以上、その他のがん検診は40歳以上の方が対象です。

～ようこそ！庄内警察署へ～ 第四小学校4年生の 職場見学が行われました

わ ご う 駐 在 所

庄内警察署
佐藤 正人
(第四学区担当)



三階の道場で警察官の装備品の説明を受けた後庁舎見学を行いました。



警棒をりりしく構えるこの女性警察官は本年度から庄内署に配属となった四学区連枝出身の長南さんです。

パトカーや白バイなど車両の説明を受け実際に乗車体験しました。



パトカーと白バイの前での記念写真

白バイ隊員による
走行デモンストレーション



念願のパトカー乗車に満面の笑み



未来の白バイ隊員の
貴重な一枚となるか



5/8

余目ロータリークラブ 1人1本 植樹事業

余目ロータリークラブのみなさんから、第四公民館の花壇にブルーベリーとラベンダーを植樹していただきました。会員の浅井多一さん(沢新田)、工藤隆さん(古関)は「ブルーベリーが大きくなったら四小の子ども達にぜひ食べて欲しい」と話していました。



5/8

四小5年生田植え体験

夏を思わせる日差しのなか、お米の先生である阿部伸也さん(沢新田)、阿部耕祐さん(小出新田)の指導のもと、学習田で田植えを行いました。子ども達は裸足で田んぼに入るなり「キャー!あはは!」と楽しい悲鳴を上げながら、教わったとおり丁寧に稲を植えていました。品種は亀ノ尾とはえぬき。収穫が楽しみです♪

亀ノ尾の里資料館 企画展「館収蔵品展」

ちょっと懐かしい調度品や生活道具等を展示しています。

【期 間】

7月22日(日)まで

【時 間】

午前9時

～午後9時まで

【入館料】

無料



わんわんパトロールが 四小にやってきた!

警察犬と一緒に通学路周辺の防犯を確認する「わんわんパトロール」が四小で行われました。最初に警察犬4頭による訓練の様子が披露されると、きちんと指示に従う様子を見て子ども達は「おめでとう!」と感心した様子でした。その後、各通学班に分かれ、子ども達と一緒に安全を確認しながら下校しました。



6/1



余目第四公民館
亀ノ尾の里資料館

7月10日(火)

床清掃のため午後5時からの利用になります。ご協力をお願いします。

編集後記

随分と前から異常気象という言葉をよく耳にしますが、今年ほど「なんじゃこの天気は」と思った年はないような気がします。ゴールデンウィークが過ぎても、いつまでも寒かったり、かと思えば夏のように暑くなったり。まったく……天気に身体がついていきません。今年の夏や冬はどうなることやら?